

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 第58回東海北陸公民館大会岐阜大会事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

境生活部 環境生活政策課 生涯学習係 電話番号：058-272-1111(内2918)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 300 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	300	0	0	0	0	0	0	0	300
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・東海北陸地区(富山県、石川県、福井県、愛知県、三重県及び岐阜県)の6県で持ち回りで開催され、令和5年度は岐阜県大垣市での開催が予定されている。
- ・全国公民館研究集会は、平成28年度以降の全国7ブロックで毎年開催される公民館大会に冠をつけているもの。7年に1度、首都圏(東京都)で開催されている。
- ・これからの公民館は、現代の様々な課題解決への取り組みを進めていくとともに、地域コミュニティの維持と持続的な発展を支援するセンター的役割が期待される。

(2) 事業内容

- ・東海北陸地区各県持ち回りで開催される公民館研究大会の岐阜県での開催にあたり、事業の一部を補助する。
- ・東海北陸地区の公民館関係者約150名の会場参加予定。
大会名：第45回全国公民館研究集会・第58回東海北陸公民館大会岐阜大会
会 場：ソフトピアジャパン
期 日：令和5年10月20日(金)
内 容：公民館活動に関わる講演や分科会を実施
※オンライン・オンデマンド配信予定

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・定額：補助対象経費の2分の1以内の額
(生涯教育促進事業費等補助金交付要綱による)

(4) 類似事業の有無

- 平成10年度：東海北陸社会教育研究大会岐阜大会 補助額2,000千円
- 平成12年度：東海北陸公民館大会岐阜大会 補助額600千円
- 平成17年度：東海北陸社会教育研究大会岐阜大会 補助額300千円
- 平成20年度：東海北陸公民館大会岐阜大会 補助額600千円
- 平成30年度：東海北陸社会教育研究大会岐阜大会 補助額300千円

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	300	東海北陸公民館大会開催に要する経費の補助金
合計	300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県教育ビジョンにおいて、「多様な学びの場を広げ、社会全体で子どもたちを育む教育コミュニティづくり」を進めることを掲げており、地域コミュニティの拠点となる公民館活動の推進を図る。

(2) 国・他県の状況

- ・令和4年9月8日、9日東海北陸富山大会開催。
- ・会場とオンライン併催。

(3) 後年度の財政負担

当大会は、富山県、石川県、福井県、愛知県、三重県との持ち回りで開催されるため、その都度、内容を精査し、補助金交付を検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・主催：東海北陸公民館連合会、公益財団法人全国公民館連合会
(事業主体は、岐阜県公民館連合会)

県内の公民館及び公民館関係者の連絡連携を図り、公民館の充実発展のための事業を行い、地域社会の健全な発展に寄与している団体への補助であり、また、営利を目的とする団体ではなく、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県公民館連合会事業費補助金
補助事業者(団体)	岐阜県公民館連合会 (理由) 公民館活動は、地域づくり・人づくりの拠点として地域の活性化に資する
補助事業の概要	(目的) 社会教育の振興を図る。 (内容) 事業に要する経費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 300千円(補助対象経費の2分の1以内の額) (理由) 社会教育の振興を図るため、事業に要する経費に対し、予算の範囲内で、補助金を交付する(交付要綱)
補助効果	東海地区の公民館関係者との相互交流を通じて、他県の特色ある公民館運営や活動を学ぶことができる。
終期の設定	終期R5年度第58回東海北陸公民館大会 (理由) 事業が終了するため

(事業目標)

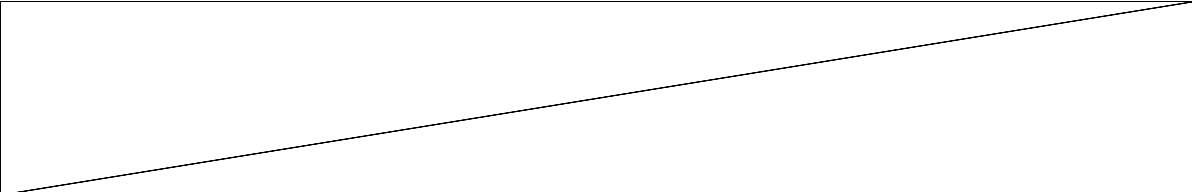
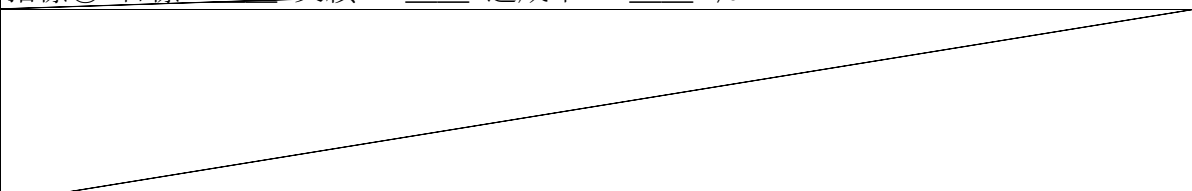
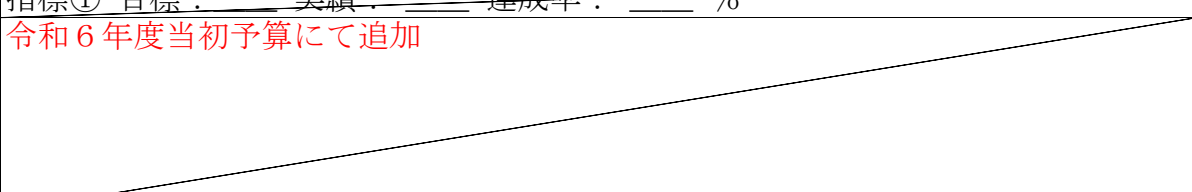
・終期までに何をどのような状態にしたいのか
住民の日常的な学習要求や地域課題に対応し、地域の活性化を図る重要な拠点として、主体的な特色ある運営を推し進める。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R3年度	R4年度	R5年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①東海北陸公民館大会参加者数				1,000		

補助金交付実績 (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	0	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

令和6年度当初予算にて追加

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>岐阜県公民館連合会は、地域の活性化と人間性豊かな社会の形成を図る重要な拠点となる公民館の事業を統括する団体であり、県として支援を行い、引き続き連携していく必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	<p>公民館は社会教育の拠点として、今日的な課題を常に的確に把握し、地域住民と協働したまちづくりの推進に努めている。補助金は東海北陸研究大会の事業費の一部に充てられる。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	<p>大会当日は、オンライン配信を予定しており、ハイブリット開催となる。会場の人数制限を設けることで、前回の開催に比べて事業の効率化・費用の削減を見込んでいる。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 公民館の利用者が、高齢化・固定化されており、若年層の利用が少ない。地域の活性化を図る上でも幅広い年齢層の利用がされるよう工夫が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 【廃止】 本事業は、概ね7年周期で開催されるため。</p>
